

編集後記

我が家には、毛むくじゃらの生き物が2匹おりまして、彼らの楽しみの一つは散歩です。私にとってもほんやりと考えごとをしながら散歩することは有意義で、日課となっています。夜10時頃にでかけるので3月とはいえまだ寒いですが、この季節のよいことは星空がきれいに見えることです。夜空を見上げると、星座にうとく視力の弱い私でもすぐにそれとわかるのは、オリオン座、カシオペア座、北極星、北斗七星です。オリオン座の周りには明るい星が多く、南に向かってオリオン座の左にプロキオン、左下に有名なシリウスが見られます。これらとオリオン座のベテルギウスとを合わせて冬の大三角を認識できるようになりました。プロキオンは子犬座、シリウスは大犬座の一部です。そういえば足元に2匹いました。最近のお気に入りの星は、南を向いてオリオン座の右にあるとても明るい星です。月が明るいときや曇りがちな日でもその星はみつかることができます。ウェブで調べたところ、プレアデス星団(和名はすばる)でした。こんな有名な星を今まで知らなかったなんてダメですね。星団ということで、普通の視力の人ですと、6個程度数えることができるそうです。私に

は完全に1個にしか見えませんが……。全体的に青白く見えるのは、比較的若い星で核融合の速度が速いからだそうです。プレアデス星団のすぐ左には、1等星のアルデバランがあります。アルデバランの色はオレンジでその理由は、核融合の燃料となる水素を使い果たして赤色巨星に移行しているからで、現在はヘリウムを核融合させている段階だからだそうです。澄んだ夜空、大きな星座、人の営みにかかわらずいつも必ずそこに在る……。何だか大きな気持ちにさせられます。皆さんも、疲れたときや気持ちが下向きのときなど、夜空を見上げてみてはいかがでしょうか。

さて、私の編集委員の任期も残り少なくなってきました。リチウムの同位体分離に関する記事を手掛けたのみで、とてもお役にたてた気がしませんが、残りの任期が満了するまで精一杯努力する所存です。編集作業に加わったおかげで、学会誌の出版を支えるために多くの努力があることを知り、学会誌がこれまでより暖かみのあるものを感じるようになりました。編集委員長をはじめ編集委員の先生方や事務局の皆様にはたいへんお世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。(杉山貴彦)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	小川 雄一	副会長	斧 高一	二宮 博正(推薦委員長)	常務理事	西村 新(総務委員長)
理 事	疇地 宏 上杉 喜彦 坂本 慶司(広報委員長) 永津 雅章(企画委員長) 山崎 耕造		安藤 晃 甲斐 俊也 清水 克祐(財務委員長) 福山 淳 米田 仁紀(編集委員長)		石原 修(研究部会連絡委員長) 小森 彰夫(支部・地区研究連絡委員長) 白谷 正治(年会運営委員長) 堀池 寛	
監 事	市村 真		中澤 一郎			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：米田仁紀(電通大) 副委員長：上杉喜彦(金沢大)
エディタ：安藤 晃(東北大)、坂本瑞樹(筑波大)、中村祐司(京大)、村上匡且(阪大)、室賀健夫(核融合研)、佐々木浩一(北大)
編集委員：石田 學(JAXA)、伊藤剛仁(阪大)、井 通暁(東大)、今井 誠(京大)、岩本晃史(核融合研)、大場恭子(東工大)、岡本 敦(東北大)、梶村好宏(明石高専)、菊池崇志(長岡技科大)、古賀麻由子(兵庫県立大)、佐々木 明(原子力機構)、佐竹真介(核融合研)、佐藤正泰(原子力機構)、杉山貴彦(名大)、高橋和生(京都工繊大)、田中将裕(核融合研)、土屋 文(名城大)、成嶋吉朗(核融合研)、長谷川裕記(核融合研)、廣瀬貴規(原子力機構)、福山隆雄(愛媛大)、藤澤彰英(九大)、松浦寛人(大阪府立大)、村中崇信(中京大)、籾内俊毅(阪大)、山田英明(産総研)、山家清之(新潟大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第89巻第3号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2013年(平成25年)3月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。